

福井ふるさと茶屋「縄文の里」のオープンについて

1. 整備の目的

年々、高齢化が進む遅羽町において、町の魅力の一つである「縄文の里」の郷土料理を市内外に発信するために活動してきた「縄文の里料理研究会」と町のまちづくりの中心組織である「遅羽町住民協議会」が、これまでの活動経験を活かし、地域の各世代が気軽に集まり、絆をつなげられる居場所を創設することを目的に整備した。

2. 整備内容

勝山駅前に位置している空き家（旧所有者：石田光男氏）を無償で譲り受け、リノベーションした。

3. 事業費

15,067,089 円

県の「福井ふるさと茶屋整備支援事業」を活用し、県と市の財政支援を受けて整備

【福井ふるさと茶屋整備支援事業】

中山間地域等の概ね小学校区単位の地域において、既存施設を活用し、住民が寄り合う場所や地元の農産物等の販売などを行う拠点の整備を支援する。

補助額 県：10,000,000円 市：5,000,000円

4. 落成式

4月8日（日） 午前10時～ 実施

5. オープン

4月9日（月） 営業時間：午前10時～午後4時（定休日は毎週水曜日）

6. 今後の事業展開

地域の各世代が気軽に集まり、絆を深めることのできる憩いの場を創出するとともに、えちぜん鉄道を利用する観光客等におもてなしサービスを提供する。

- ・喫茶スペースを設け、お団子等の軽食を楽しむことのできる形式とする。
- ・子ども達との昔あそび会や、高齢者サロンを実施する。
- ・薪ストーブを設置し、「温かな灯のぬくもり」をおもてなしに活用する。
- ・ふるさと料理（報恩講料理・里芋御膳・縄文の里御膳など）の提供により、市内外からの誘客を促進する。（予約制のレストラン形式で実施予定）
- ・地元の農業者と連携し、野菜の収穫体験とピザづくりや家庭料理教室を行う。
- ・遅羽町内で取れた新鮮な野菜・果物、縄文かきもち・縄文ばもち等の直売と新商品の開発を行う。
- ・各イベントへの参加や予約受付によるふるさと料理等の販売を行う。（随時実施）

問合せ先

勝山市総務部未来創造課
企画調整・男女参画 G 秦

TEL：0779-88-1115

E-Mail：kikaku@city.katsuyama.lg.jp